

郷中だより

令和3年3月15日
倉敷市立郷内中学校長発行
学校だより 第27号

3年生から受け継いだものを大切に

3月12日金曜日に68名の3年生が、郷内中学校から巣立っていきました。卒業式は、通常より縮小した形にはなりましたが、保護者、教職員、在校生代表が見守る中、厳かで温かい式になりました。天気予報では、雨の確率が高かったのですが、みんなで「天気になーれ!」と祈ってくれたおかげで午前中は晴れていました。



3年生の態度は見事でした。卒業証書授与で、一人一人担任の先生から名前を呼ばれ、堂々とした声で返事をしました。式辞、送る言葉、別れの言葉と続きましたが、3年生全員が、目と心で聴いていることが、空気で読み取ることができました。在校生代表の木村さんは、「行事のひとつひとつに全力で取り組む姿は私たちの目標でした。先輩方のように後輩の良き手本になるように受け継ぎます。」と述べ、卒業生代表の久米さんは、中学校生活を振り返り、「学校行事、生徒会、部活すべてが自分たちを成長させてくれました。これからは、郷内で育ち、素晴らしい仲間と出会ったことを活力に変え、明日からの新しい生活を頑張ります。」と力強い言葉を残しました。3年生から渡されたバトンをつなぎ、全員で新たな感動の場面を作っていきましょう。

